

INDEX

ごあいさつ	1
トピックス	3
当期業績と財務指標の推移	5
事業別の概況	6
主要製品紹介	7
財務諸表(連結)	9
財務諸表(単独)	11
株式の状況	13
会社の概要	14

株主の皆様へ

2004年度 事業報告書

第105期 2004年4月1日から2005年3月31日まで

日本特殊陶業株式会社
(証券コード 5334)

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第105期（2004年4月1日～2005年3月31日）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げますとともに、現況について概要をご報告いたします。

■第105期の連結業績概況と第106期の見通しについて

第105期は、売上高が前期比5.4%増加し2,411億8,500万円となりました。営業利益は前期比25.8%増加し260億9,000万円、経常利益は前期比44.6%増加の277億1,100万円、当期純利益は前期比54.2%増加し171億4,700万円となり、売上高、利益のいずれも過去最高を達成することができました。

事業別にみえますと、自動車関連では、スパークプラグでは欧州やアジア地域の需要が好調に推移し、前期に続き過去最高の売上を達成することができましたが、酸素センサ等の自動車用センサにつきましては、大手需要先である米国自動車メーカーの減産により伸び悩みました。また、情報通信関連におきましては、携帯電話やパソコン需要の伸びを受け、売上が大幅に増加したことに加えて、工場間における工程の集約による合理化、オーガニックパッケージの歩留改善による効果が、ドル安による為替差損の逆風のなかでも大きく寄与し、この部門の黒字化が当期の大幅な増益に大きく貢献いたしました。

第106期（2005年4月1日～2006年3月31日）の見通しにつきましては、連結で売上高2,500億円（前期比3.7%増）を予定しておりますが、円高による為替の影響、原油・鉄鋼品など原材料費の上昇や、新工場棟建設に伴う初期費用の発生もあり、経常利益は281億円（前期比1.4%増）、純利益につきましては172億円（前期比0.3%増）と微増を見込んでおります。

■中長期的な事業展開について

当社は海外売上高の割合が80%程度と高く、為替変動が業績に与える影響が大きいことから、既存商品の世界市場での競争力をさらに高める必要があると考えております。このために、いかにお客様にご満足いただけるかを最重要の課題としつつ、「生産・物流・調達等の最適化を軸にした業務改革」「独自技術およびブランド戦略による他社商品との差別化」「世界同一品質マネジメントシステムの確立」「競合他社との特許バランスで優位に立つ特許戦略の充実」を柱に、強みのある分野のさらなる強化を図ってまいります。

特に、ヨーロッパを中心とした環境問題への配慮の高まりから、ディーゼルエンジン関連のビジネスが今後さらに伸びていくものと予想しております。このチャンスを確実に捉えるため、当社の主力工場である愛知県の小牧工場におきまして、新工場棟（2005年10月完成・約30,000㎡ 4階建て）の建設を進めるなどの投資を行っております。また、MPU用ICパッケージにつきましても、需要は増加していくものと見込んでおり、一層の原価低減、歩留向上によって収益向上に努めてまいります。この他、セラミックを

用いた医療分野での拡販など、新分野の開拓も行っており、なかでも肺疾患患者向け医療用酸素濃縮器ビジネスにつきましては、当社製品の優位性もあって、売上増加を期待しております。

■配当について

当期は好業績を挙げることができましたので、これを株主の皆様へ還元するため、期末配当は1株あたり10円とし、昨年中間期に実施いたしました中間配当6円と合わせて、年間配当額は前期より5円増の1株あたり16円といたしました。

今後につきましては、従来からの安定配当を維持しながら、連結での配当性向20%以上を目標に、株主の皆様へ利益を還元していくことを目指してまいります。

なお、第106期の配当は通期で1株あたり18円を予定しております。

■企業の社会的責任について

当社は、法令等を遵守し、全てのステークホルダーから信頼され、企業としての社会的責任を全うすることを基本に、経営の健全性・透明性を確保することが重要な経営課題の一つであると考えております。さらに、全役員・全従業員の一人ひとりが、この社会的責任を正しく理解し、実践するための基本指針として「企業行動規範」を制定し、コンプライアンスに対する意識を高める事に努めております。

地球環境保護問題に対しても、自動車燃費低減に寄与するスパークプラグ、排ガス浄化に役立つ酸素センサをはじめ、環境に配慮した製品の開発を行うなど、積極的に取り組んでおります。また、ISO14001の認証も国内外主要工場で取得しております。

株主の皆様から寄せられたご期待に沿うべく、お預りいたしました大切な経営資源を、より一層効率的に投下してまいります。今後とも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

取締役社長

加藤倫朗



小牧工場内に新工場棟を建設

愛知県小牧市にある当社主力工場の小牧工場内で新工場の建設が進んでいます。

小牧工場は昭和37年に操業開始した工場で、これまで当社主力製品であるスパークプラグ、自動車用酸素センサやICパッケージ、産業用セラミックなど数々の製品を市場へ送り出してきました。

その工場内で一番初めに操業した第一工場を取り壊し、新たに



(完成予想図)

に4階建ての延べ床面積約30,000㎡の新工場棟が、本年10月に完成します。欧州を中心に環境への配慮からディーゼルエンジンの需要が拡大しており、それに応えるべくディーゼルエンジン用グロープラグを一貫生産する他、これらの関連製品を製造していく予定です。

伝統ある工場からまもなく新たな歴史が始まります。どうぞご期待ください。



(建設中の新工場棟)

ポーランド生産子会社設立

東欧・ポーランドにおいて、セラミック切削工具の生産子会社が2004年10月より操業を開始しました。

当社は、セラミック切削工具を国内はもとより海外の自動車、航空機、機械メーカーをはじめとした世界中のユーザーに販売しております。海外の主力ユーザーは米国、欧州に位置しており、短納期だけでなく、現地でのより目目細かなサービスの提供ができる体制

も必要となっています。

一方近年、日系、欧米系の自動車関連企業の東欧への進出が一段と活発になってきており今後、東欧市場でのセラミック切削工具の需要増加が期待できます。併せて西欧市場においても継続的な需要拡大が見込まれることから、地理的に欧州各国のユーザーに近い場所に位置し、且つEUに新規加盟したポーラ

インドにおいて当社として初めてセラミック切削工具の生産拠点を設立しました。

これにより拡大されたEUにおいて、その他の主要市場と同様これまで以上に信頼いただける商品とサービスを提供でき、またポーランドの産業の発展に微力ながら貢献できるものと確信しております。



中国における酸素センサ生産開始の決定

2003年4月に設立しパークプラグの製造販売活動を行っている上海特殊陶業有限公司内に、酸素センサの生産ラインを新設することを決定しました。2006年後半の生産開始を予定しており、年産100万個能力でスタートし、その後順次拡大を見込んでいます。

酸素センサは排ガス中の酸素濃度を測定し、有害物質を低減することを目的に最適な空燃比を制御するための情報を車載コンピューターに提供する、排ガス浄化システムの中核部品です。

中国では昨年6月に新中国自動車政策を発表し、環境や省燃費への対策を求めています。今後一層の拡大が見込まれる中国の自動車ビジネスにおいても、当社製品の活躍が期待されます。



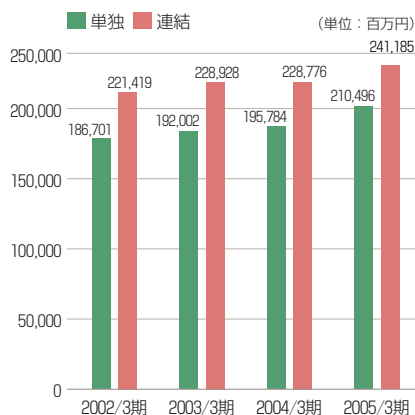
当期業績と財務指標の推移

当期の業績

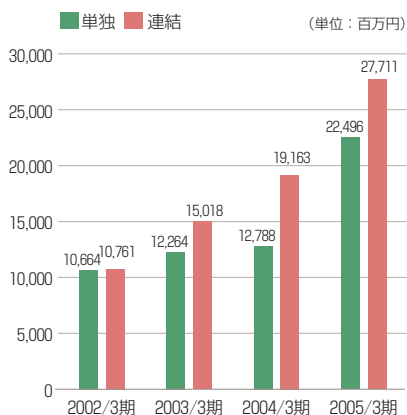
連結	売上高	2,411億8,500万円 (前期比5.4%増)
	経常利益	277億1,100万円 (前期比44.6%増)
	当期純利益	171億4,700万円 (前期比54.2%増)
	一株当たり 当期純利益	77円01銭

単独	売上高	2,104億9,600万円 (前期比7.5%増)
	経常利益	224億9,600万円 (前期比75.9%増)
	当期純利益	140億3,800万円 (前期比78.3%増)
	一株当たり 当期純利益	62円98銭

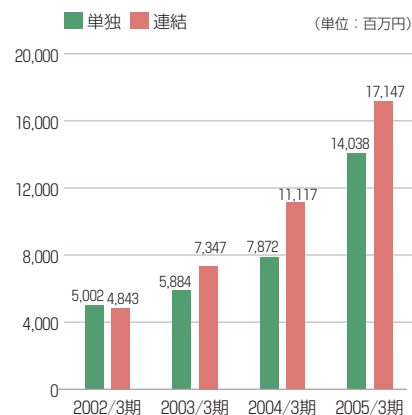
売上高



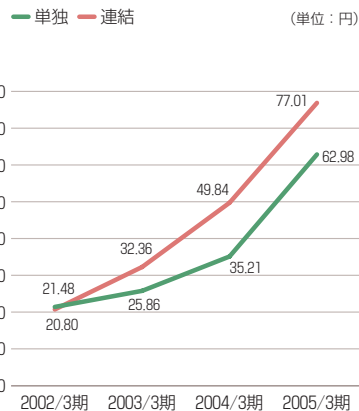
経常利益



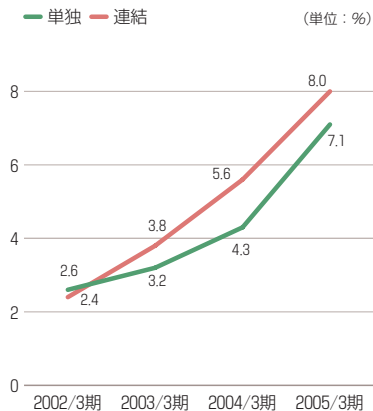
当期純利益



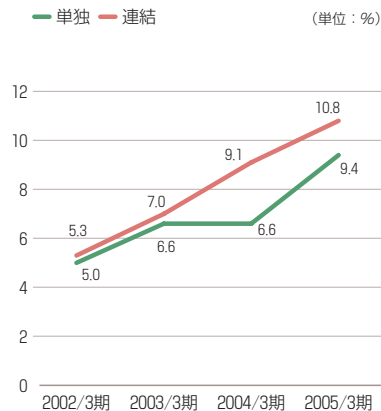
1株当たり当期純利益



株主資本当期純利益率 (ROE)



売上高営業利益率



事業別の概況

自動車関連事業

売上高

連結 1,487億2,600万円（前期比0.7%増）

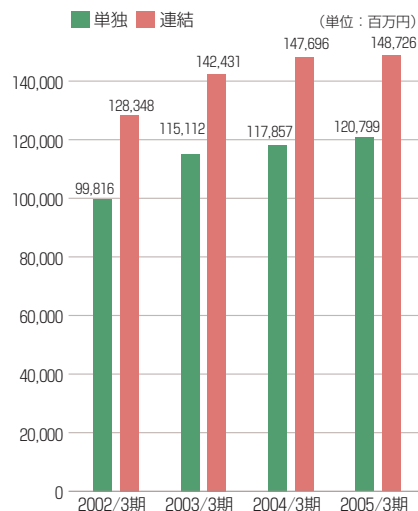
単独 1,207億9,900万円（前期比2.5%増）

スパークプラグにつきましては、欧州やアジア地域等海外市場の商況が好調に推移した他、国内市場も堅調な動きとなり、前年に続き過去最高の売上を達成することができました。

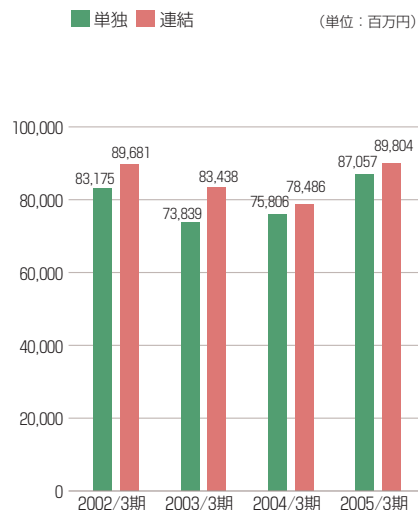
一方、酸素センサ等の自動車用センサにつきましては、欧州市場にて売上が増加しましたが、為替がドル安に推移したことに加え、大手需要先である米国自動車メーカーの減産により米国市場が伸び悩み、センサ合計では若干の減少となりました。

この結果、当事業の売上高は上記の通りとなり、営業利益は249億4,600万円（前期比4.8%減）となりました。

自動車関連事業売上高



情報通信・セラミック関連事業売上高



情報通信・セラミック関連事業

売上高

連結 898億 400万円（前期比14.4%増）

単独 870億5,700万円（前期比14.8%増）

情報通信関連製品につきましては、厳しいコスト競争が続くなか、堅調に推移したパソコン市場の伸びに支えられ、主力であるMPU用オーガニックパッケージの売上は大幅に増加しました。またセラミックパッケージでは、通信デバイス用パッケージが増加するとともに、携帯デジタル関連や半導体検査装置向けの開発製品も売上増加に貢献しました。機械工具分野では、主要な客先である自動車業界、機械業界ともに堅調に推移した結果売上が増加しました。また応用セラミック分野でも、産業用セラミック部品や医療関連分野等の伸長により売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は上記の通りとなり、営業利益は、昨年の55億円近くの営業損失から、11億3,700万円となりました。

その他の事業

売上高

連結 27億1,700万円（前期比 0.7%減）

単独 26億3,900万円（前期比24.5%増）

運送関係・材料等の売上であります。

自動車関連事業

モータリゼーションを取り巻く環境は、自動車の利便性・快適性・機能性だけでなく、資源保護や環境保全を含めた多面的な開発姿勢が強く求められています。こうした要望に応じて、当社ではスパークプラグをはじめ、酸素センサ、ノックセンサなどの幅広い自動車部品を開発してきました。スパークプラグ

は現在では国内外のほとんどの自動車メーカーに採用され、排気ガス浄化システム用酸素センサとともに世界トップクラスのシェアを誇っています。

自動車関連事業 製品リスト

- イリジウムIXプラグ
- ディーゼルエンジン用グロープラグ
- ノックセンサ
- ジルコニア酸素センサ
- 全領域空燃比センサ
- ロケット用プラグ
- レース用プラグ
- 電波雑音防止関連商品
- スパークプラグ
- センサ他

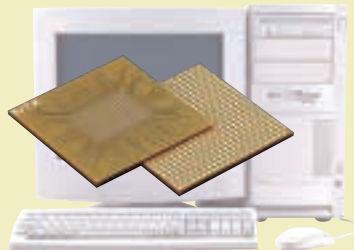
情報通信・セラミック関連事業

情報通信の飛躍的な発展に伴う多種多様なニーズに応える総合ICパッケージメーカーとして、セラミックやオーガニック材料を使い、パソコンの心臓部であるMPU（マイクロプロセッサ）用や携帯電話をはじめとする通信機器に搭載されるデバイス用のパッケージを各種取り揃えています。また長寿命、高精度加工を実現する切削工具をはじめ、各種セラミック応用製品

は、産業・輸送・生活関連分野で活躍しています。そして近年では人工骨といったバイオセラミックスや在宅酸素療法用酸素濃縮器などの医療分野から、オゾン発生装置や湿度・風速計などの環境関連分野、そして半導体製造装置関連部品まで活躍の場を拡げています。

情報通信・セラミック関連事業 製品リスト

●オーガニックパッケージ



●水晶デバイス・SAWフィルター用パッケージ



●アンテナスイッチモジュール



●酸素濃縮器



●バイオセラミックス



●応用セラミックス



●半導体用部品



●機械工具



●電子部品

連結貸借対照表

百万円

資 産 の 部			負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部		
科 目	2005年3月末	2004年3月末	科 目	2005年3月末	2004年3月末
流 動 資 産	178,917	155,306	流 動 負 債	55,880	62,917
現金及び預金	61,432	47,579	買 掛 金	22,660	17,183
受取手形・売掛金	41,960	41,054	短 期 借 入 金	8,319	14,458
有 価 証 券	15,320	11,670	1年以内に償還予定の社債	—	10,000
た な 卸 資 産	45,367	42,223	未 払 法 人 税 等	6,885	3,432
繰 延 税 金 資 産	7,562	7,035	そ の 他	18,015	17,842
そ の 他	7,460	6,033	固 定 負 債	45,217	28,444
貸 倒 引 当 金	△187	△290	社 債	27,000	10,000
固 定 資 産	144,191	142,688	退 職 給 付 引 当 金	13,743	13,033
有 形 固 定 資 産	88,937	90,674	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,091	893
建 物 及 び 構 築 物	36,300	38,464	連 結 調 整 勘 定	40	—
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	33,063	32,890	繰 延 税 金 負 債	2,658	3,840
土 地	15,200	14,489	そ の 他	682	676
建 設 仮 勘 定	2,344	2,668	負 債 合 計	101,097	91,361
そ の 他	2,029	2,162	少 数 株 主 持 分	1,078	668
無 形 固 定 資 産	137	157	資 本 金	47,869	47,869
ソ フ ト ウ ェ ア	137	154	資 本 剰 余 金	54,826	54,825
連 結 調 整 勘 定	—	3	利 益 剰 余 金	117,394	102,868
投 資 そ の 他 の 資 産	55,117	51,855	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	15,352	15,628
投 資 有 価 証 券	52,392	49,044	為 替 換 算 調 整 勘 定	△7,701	△8,516
繰 延 税 金 資 産	1,034	1,013	自 己 株 式	△6,808	△6,710
そ の 他	1,797	1,910	資 本 合 計	220,932	205,963
貸 倒 引 当 金	△107	△112	負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	323,108	297,994
資 産 合 計	323,108	297,994			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

百万円

科 目	2005年3月期	2004年3月期
売 上 高	241,185	228,776
売 上 原 価	177,785	171,481
売 上 総 利 益	63,400	57,294
販売費及び一般管理費	37,309	36,549
営 業 利 益	26,090	20,745
営 業 外 収 益	3,844	3,349
受取利息及び配当金	952	914
そ の 他	2,891	2,435
営 業 外 費 用	2,223	4,931
支 払 利 息	647	1,026
そ の 他	1,576	3,904
経 常 利 益	27,711	19,163
特 別 利 益	28	105
固 定 資 産 売 却 益	26	57
投資有価証券売却益	2	47
特 別 損 失	1,573	854
固 定 資 産 処 分 損	1,444	854
投資有価証券評価損	128	—
税金等調整前当期純利益	26,166	18,414
法人税、住民税及び事業税	8,974	7,261
法人税、住民税及び事業税	10,455	8,235
法人税等調整額	△1,480	△974
少 数 株 主 利 益	44	35
当 期 純 利 益	17,147	11,117

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

科 目	2005年3月期	2004年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,092	24,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,782	14,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,887	△21,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119	△236
現金及び現金同等物の増減額	△7,697	17,015
現金及び現金同等物の期首残高	48,222	31,207
現金及び現金同等物の期末残高	40,524	48,222

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社 (2005年3月期 31社)

米国特殊陶業株式会社
 米国テクノロジー株式会社
 英国NGKスパークプラグ株式会社
 欧州NGKスパークプラグ有限公司
 ヨーロッパ特殊陶業株式会社
 ブラジル特殊陶業有限公司
 オーストラリアNGKスパークプラグ株式会社
 株式会社日特製作所
 株式会社神岡セラミック
 株式会社飯島セラミック
 株式会社中津川セラミック
 他20社

持分法適用会社 (2005年3月期 4社)

友進工業株式会社
 サイアムNGKスパークプラグ株式会社
 セラミックセンサ株式会社
 東海耐摩工具株式会社

単独貸借対照表

百万円

資 産 の 部			負債及び資本の部		
科 目	2005年3月末	2004年3月末	科 目	2005年3月末	2004年3月末
流 動 資 産	140,011	118,774	流 動 負 債	41,862	47,565
現金及び預金	44,529	34,754	買掛金	23,552	22,244
受取手形	752	808	1年以内に償還予定の社債	—	10,000
売掛金	46,423	40,498	未払金	2,634	2,604
有価証券	15,320	11,620	未払法人税等	6,310	2,812
製品	10,223	9,575	未払費用	8,250	9,065
原料及び材料	890	1,044	預り金	1,115	837
仕掛品	9,126	8,246	固 定 負 債	42,325	25,720
未収入金	7,994	7,562	社債	27,000	10,000
繰延税金資産	3,677	3,318	繰延税金負債	2,335	3,444
その他	1,078	1,349	退職給付引当金	11,898	11,381
貸倒引当金	△5	△6	役員退職慰労引当金	1,091	893
固 定 資 産	146,248	145,557	負 債 合 計	84,188	73,285
有形固定資産	75,456	78,086	資 本 金	47,869	47,869
建物	28,669	30,995	資 本 剰 余 金	54,826	54,825
構築物	1,906	2,099	資本準備金	54,824	54,824
機械及び装置	28,711	29,190	その他資本剰余金	1	0
車両運搬具	82	83	自己株式処分差益	1	0
工具器具備品	1,110	1,109	利 益 剰 余 金	91,008	79,588
土地	13,195	12,519	利益準備金	5,837	5,837
建設仮勘定	1,780	2,087	別途準備金	62,090	60,090
無形固定資産	69	73	特別償却準備金	487	410
ソフトウェア	69	73	当期末処分利益	22,594	13,250
投資その他の資産	70,722	67,397	その他有価証券評価差額金	15,175	15,473
投資有価証券	49,840	47,051	自 己 株 式	△6,808	△6,710
子会社株式等	19,219	18,504	資 本 合 計	202,071	191,045
その他	1,768	1,952	負 債 資 本 合 計	286,260	264,331
貸倒引当金	△106	△111			
資 産 合 計	286,260	264,331			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独損益計算書

百万円

科 目		2005年3月期	2004年3月期
経常損益の部	営業収益	210,496	195,784
	売上高	210,496	195,784
	営業費用	190,615	182,960
	売上原価	168,285	160,865
	販売費及び一般管理費	22,330	22,095
	営業利益	19,881	12,823
	営業外収益	4,694	4,088
	受取利息及び配当金	1,810	1,718
	その他	2,884	2,370
	営業外費用	2,078	4,123
支払利息	351	656	
その他	1,727	3,467	
経常利益	22,496	12,788	
特別損益の部	特別利益	20	105
	固定資産売却益	18	57
	投資有価証券売却益	2	47
	特別損失	1,458	805
	固定資産処分損	1,330	805
投資有価証券評価損	128	—	
税引前当期純利益	21,058	12,088	
法人税、住民税及び事業税	8,284	5,505	
法人税等調整額	△1,264	△1,289	
当期純利益	14,038	7,872	
前期繰越利益	9,885	6,596	
中間配当額	1,329	1,218	
当期末処分利益	22,594	13,250	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

百万円

	2005年3月期	2004年3月期
当期末処分利益	22,594	13,250
特別償却準備金取崩額	130	98
合 計	22,724	13,348
これを次のとおり処分いたします。		
特別償却準備金	134	174
別途準備金	3,000	2,000
利益配当金	2,214	1,218
役員賞与金	85	70
(うち、監査役賞与金)	(7)	(6)
次期繰越利益	17,289	9,885
(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。		
2. 1株当たり配当金		
	(2005年3月期)	(2004年3月期)
利益配当金		
普通配当	9円50銭	5円50銭
特別配当	50銭	—
計	10円00銭	5円50銭
中間配当金		
普通配当	5円50銭	5円50銭
特別配当	50銭	—
計	6円00銭	5円50銭
年間配当	16円00銭	11円00銭

株式の状況

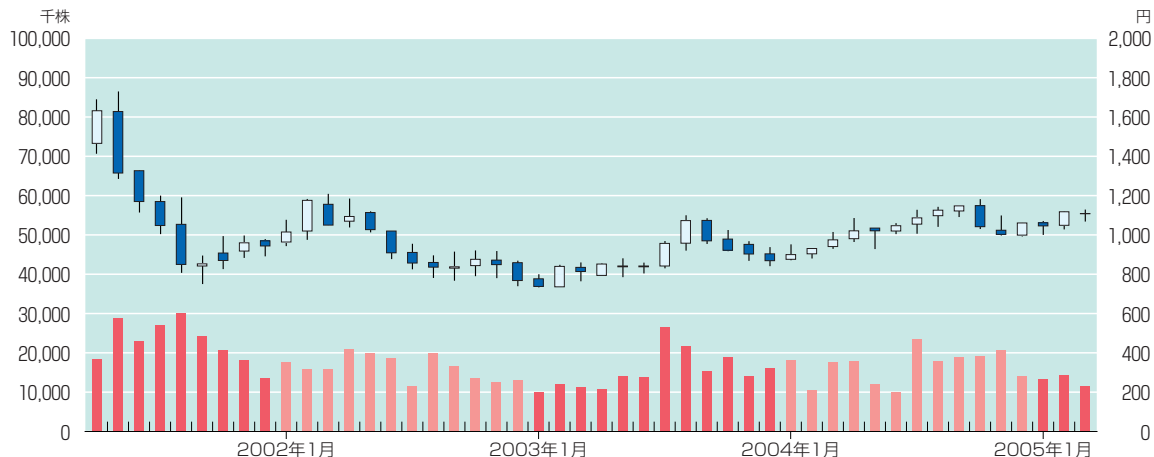
発行する株式の総数 390,000,000株
 発行済み株式の総数 229,544,820株
 株主数 16,528名

大株主

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	22,040	9.60
第一生命保険相互会社	16,752	7.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	16,536	7.20
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.01
日本生命保険相互会社	11,383	4.96
資産管理サービス信託銀行株式会社	7,402	3.22
株式会社UFJ銀行	7,267	3.17

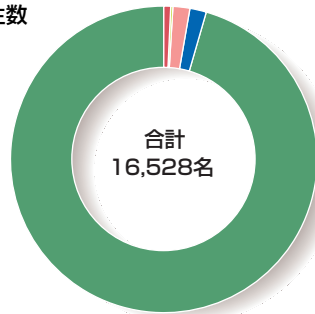
- (注) 1. 当社は、平成17年3月31日現在自己株式を8,063千株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 2. 当社は、株式会社UFJ銀行の持株会社である株式会社UFJホールディングスの株式4,940株を所有しています。なお同社に対する出資比率は0.08%です。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式は、全て信託業務に係る株式であります。

株価および株式売買高（東京証券取引所）



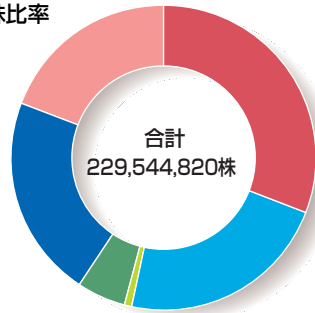
所有者別株式分布状況

株主数



- 金融機関
119名 (0.72%)
- 証券会社
38名 (0.23%)
- その他国内法人
293名 (1.78%)
- 外国法人・外国人
288名 (1.74%)
- 個人・その他
15,790名 (95.53%)

持株比率



- 金融機関
30.86% (70,840,943株)
- 信託業務に係る株式関係
22.50% (51,652,375株)
- 証券会社
0.78% (1,783,339株)
- その他国内法人
5.18% (11,883,272株)
- 外国法人・外国人
21.49% (49,339,162株)
- 個人・その他
19.19% (44,045,729株)

商号 日本特殊陶業株式会社
 英文社名 NGK SPARK PLUG CO., LTD.
 本社所在地 〒467-8525
 愛知県名古屋市長瑞区高辻14番18号
 設立年月日 1936年(昭和11年)10月26日
 資本金 478億6,900万円

主要生産品目

自動車関連部門

スパークプラグ(自動車用、航空機用、農林・船舶・産業用、レース用)、ディーゼルエンジン用グロープラグ
 自動車用各種センサ(酸素センサ、ノックセンサ 他)
 セラミック製エンジン部品 他

情報通信・セラミック関連部門

半導体用部品 セラミック積層型ICパッケージ、オーガニックICパッケージ、通信デバイス用パッケージ、アンテナスイッチモジュール 他

電子部品 誘電体フィルタ、誘電体共振器、着火装置、超音波振動子 他

機械工具 セラミック工具、サーメット工具、コーティング工具、微粒子超硬合金工具 他

応用セラミック 真空スイッチ容器、半導体製造装置用部品、セラミックヒーター、シリコン整流器用容器、オゾナイザ、バイオセラミックス、医療用酸素濃縮器 他

主な事業所 工場：本社、小牧、鹿児島宮之城、伊勢
 支社：東京
 営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌

従業員 4,915人(就業人員)

役員 (2005年6月29日現在)

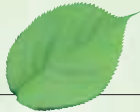
代表取締役 取締役会長	金川重信
代表取締役 取締役社長	加藤倫朗
専務取締役	高見昭雄
専務取締役	加藤直幹
専務取締役	堀田郁雄
専務取締役	橋本玄次郎
専務取締役	瀧口和夫
常務取締役	稲垣純
常務取締役	春日井明世
常務取締役	千成篤博
常務取締役	川原一雄
常務取締役	安部親礼
常務取締役	小原道郎
取締役	奥村隆夫
取締役	川満務
取締役	山田茂保
取締役	八木秀明
取締役	加川純一
取締役	岩田康寛
取締役	伊藤恒夫
取締役	山田哲正
取締役	川下政美
取締役	住田克彦
常勤監査役	牛田由郎
常勤監査役	津田修
監査役	大塚鎗子
監査役	藤岡瑋晃

ホームページのご案内

日本特殊陶業のホームページでは、IR(投資家向け)情報や、スパークプラグをはじめとする製品に関するご案内などの情報を掲載してお待ちしております。是非一度ご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>





環境問題への取り組み

当社グループは、社会、地球環境との調和を図りつつ、環境にやさしいNGKスパークプラグ/NTKニューセラミック製品のライフサイクル全体を通して、良品主義のもと新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。

この達成のため、環境方針に基づく環境行動計画を策定し、総員参加により持続可能な社会、経営の発展を追求し、信頼される企業として社会的な役割・責任を担っていきます。



ISO14001

国内全4工場をはじめ国内におけるほとんどの連結決算対象会社や米国、欧州、ブラジル、タイ他、海外連結決算対象会社でも認証を取得しています。

ゼロエミッション

2003年9月、ゼロエミッションを達成しました。

株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 利益配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 公告方法 日本経済新聞及び中日新聞に掲載いたします。ただし、当社は貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ <http://www.ngkntk.co.jp/ir/kessankoukoku.html> に掲載しております。

名義書換代理人 三菱信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便番号 171-8508
 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

(電話お問合せ)
 郵便物送付先

同事務取扱所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
 単元未満株式の買取請求及び買増請求 単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記名義書換事務取扱場所及び取次所にて受付けております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。また、買増請求は、3月31日の12営業日前から3月31日まで、9月30日の12営業日前から9月30日までの間はお取扱ができません。東京・名古屋 (第1部)

上場取引所



日本特殊陶業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号

<http://www.ngkntk.co.jp/>